

和華蘭（わからん）とは日本・中国（東洋）・オランダ（西洋）がミックスした長崎独特の文化様式を表現する言葉です。



モモイトヨリ 中村三郎画（グラバー図譜より）

## みんなの図書館つくろうよ！=学生懇談会特集=

この号の内容	掲載ページ
医学分館長になって(医学分館長 中村三千男)	2
経済学部分館長から学生へのメッセージ(経済学部分館長 上野清貴)	3
学生懇談会報告「図書館に何を求める？」	4～5
学生懇談会の意見・要望・アイディアに応えます！	6
<中央図書館>メディアサロンをよろしく	7
3館合同展示会開催	8～9
<b>常設</b> 公開貴重資料展示室紹介	9
附属図書館連続講演会「学術情報は今—現状と課題」	10
附属図書館でインターンシップ&職場体験	11
長崎大学の先生方が書かれた本をいただきました	12
人事異動・新任職員からのメッセージ	13
情報スクランブル	14

## 医学分館長になって

附属図書館医学分館長 中村三千男

医学部分館長は医学部・歯学部・歯研の教授が順繰りでつとめる慣習になっており、今回は歯研からということで私に鉢が回ってきた。なってみていろいろ考えさせられる事が多いのにびっくりしている。

個人的には研究所にいることもあり、図書館は単に文献検索のためにだけあるため、電子ジャーナル化された現在、もっぱらバーチャル図書館を利用していた。しかし、学生との懇談会や分館の職員などとの意見交換から、図書館は、学生の多彩なニーズを満たさなければいけない事がわかってきた。医学分館長として当面以下の問題を重点的に改善して行きたい。

1. パソコンに対応した図書の充実とその環境整備。近年、教科書が急速に進歩してCD、DVDを含み且つwebsiteにリアルタイムでアクセスできるようになってきた。学生が教科書をそばにおき、自分のパソコンや備え付けのパソコンで動画を再生し、必要に応じてLANでNetにアクセスしながら勉強できる環境を整備したい。

2. 文字だけでなく、視聴覚を介した情報提供の充実。映像と音を組み合わせた情報は、リアルでわかりやすい。古本屋での書籍の90%位が漫画になっていることからも、単なる静止画像でさえもその訴求力は圧倒的であることがわかる。医学に関連した漫画本、ドキュメンタリービデオ、DVDを充実させ、学生が気軽に分館を利用できるように心がける。現在、意外と揃っているが、その割には活用されていない。学生への周知も合わせて考えていくべきであろう。



3. 学術雑誌を電子ジャーナル化したり、他の工夫によって空間を確保し、その一部を学生がくつろげる場として提供する。従来の静かな図書館としてだけでなく、いくつかの階層をセットアップする。賑やかにグループで飲みながら語れる場。ゆったりと新聞でも読める場。グループ学習ができる場。一人で静かに没頭できる場。

4. 分館の改築は簡単ではないので、改装・改築を進めて、医学分館を視覚的にも実質的にも快適空間にしたい。分館は、医学部基礎本館とポンペ会館に囲まれ今や、かなり陰鬱で貧弱に見える。

どれだけの改善やその礎ができるかわからないが、努めてみる。他にも、分館の資料室の担う博物館的な機能などにも留意しないといけないが、これは医学部や中央図書館の理解の下に、徐々に充実していく。また中央図書館がになう情報発信機能や地域との交流への参加は当然ながら進めていくつもりである。分館の向上のために、学生や教職員が自由に希望や不満をぶつけてくる事を期待している。

経済学部分館長から  
学生へのメッセージ  
附属図書館経済学部分館長 上野 清貴



平成17年11月より附属図書館経済学部分館長に就任した上野です。学生のための開かれた図書館を目指して経済学部分館を運営していくつもりです。

現代の大学附属図書館の任務として、(1)学生に対する教育支援、(2)先生方に対する研究支援、(3)大学からの情報発信、および(4)社会に対する貢献があるといわれています。経済学部分館において、これらの任務をどのように遂行するかについてすべて説明したいのですが、紙幅の関係上、ここでは最も重要と思われる学生に対する教育支援についてだけ述べることにします。

学生に対する教育支援に関して、何よりもまず、学生用図書の充実が重要です。先日行われた学生との懇談会において、新しい専門書が少ないことや外国語で書かれた文献が少ないと指摘されました。そのほか、郷土関係の資料が少ないと意見がありました。現実に学生と接していて、新しい文献が少ないとするために、卒業論文の作成に支障をきたすケースがあります。

長崎大学では、経済学部も含めて、学生用図書の収書は、先生方や図書館からだけではなく、学生からもできるようになっています。これは

学生自身が希望する資料を重点的に収集することや、学部の枠にとらわれず、学生にとって必要な資料を効率的に収集することなどを目的としたものです。学生からの図書購入の申し込みがあれば、原則としてすぐに購入することになっています。現在、この制度を学生はあまり利用していないようですが、遠慮せずに、必要な図書をどしどし申し込んでもらいたいと思います。図書館に行けば、すぐに手続きができます。

学生との懇談会において、そのほか、次のような意見がありました。(1)開館時間に関して、夜間主コースの学生のために、もう少し開館時間の延長をしてほしい。(2)設備等に関して、トイレから悪臭が漂い不快感が生じる、夏にクーラーが入っていても閲覧室が大変暑い。(3)学習環境に関して、図書館内でノートパソコンを利用できる場所がほしい、図書館内にグループ学習室がほしい。(4)資料の利用に関して、新しく図書館で学生用に受け入れた資料がわかりにくい、中央図書館の図書を経済学部分館で借用したり返却したりできるシステムを構築してほしい。

これらに関しては、学生の要望にできるだけ応えられるように、できるところから進めていきたいと思っています。グループ学習室等に関しては、中央図書館ですでに行われていますので、経済学部分館でも早急に考えなければなりません。また、これらの学生の意見は非常に貴重ですので、これからも学生との懇談会を定期的に開いていく予定です。

学生のための開かれた図書館として、誰もが喜んで勉強にきたくなるような図書館にするのが理想です。そのためには、ハード面でもソフト面でもまだまだしなければならないことがあります。それらをできるだけ実現することが私の任務であると考えています。

## 平成17年度附属図書館学生懇談会報告「図書館に何を求める?」

### 中央図書館学生懇談会

附属図書館では、学生の皆さんのご意見で図書館を良くしていくため、学生懇談会を開催しています。文教地区では、今年度はじめて、学部ごとの学生懇談会を開催いたしました。10月18日～24日の学部別懇談会にはのべ30名以上の学生さんに参加していただき、多くの具体的で有用なご意見をいただきました。

その上で、11月24日(木)に文教地区全体の学生懇談会を附属図書館会議室で開催しました。参加者は、学生さん11名、教育学部の勝俣先生と岡林図書館長で、司会は大学教育機能開発センターの長澤先生にお願いしました。



会は参加者の自己紹介からはじまり、図書館の開館時間、設備、資料、広報、職員の対応等について活発に発言がありました。特に、資料の古さ、専門図書の貧弱さなど、蔵書に対する改善の要望が強く出され、そのほか以下のような具体的な要望がありました。

図書館では、ご意見をもとに今後検討し、ご要望についてはひとつでも多く実現していきたいと思っております。ご協力いただいた方々、ありがとうございました。

#### 主な意見、要望（一部、学部懇談会で出たものを含みます）

- ① 開館時間について（朝、土日、試験期、休業期の開館時間の拡大）
- ② 設備について（外階段が危険、書庫が怖い、傘たての鍵が壊れている、3階にコピー機が必要、携帯電話利用コーナーが欲しい、分別用のゴミ箱がない、冷暖房の時間延長、パソコンが古いなど）
- ③ 蔵書について（古くて役に立たないものが多い、専門書が少ない、課題が出た時に使う図書の冊数が少ない、ベストセラーが欲しいなど）
- ④ 資料の利用について（中央図書館と両分館の間で資料を配達して欲しい、バーコードがない資料の貸出の簡素化、検索できない資料の解消、返却した図書を督促された、郷土資料の貸出希望など）
- ⑤ グループ学習室について（防音の必要、PC、プロジェクターの設置または貸出、教養セミナーへの対応など）
- ⑥ 飲食について（飲食可能な場所、自動販売機の設置などについて賛否両論あり）
- ⑦ 広報について（各学部掲示板への掲示、お知らせメールの配信、院生向けのガイドブック、利用者の立場にたったきめ細かい情報発信などへの要望）
- ⑧ 職員について（声をかけにくいと思う、笑顔があったらいい、など）

### 医学分館学生懇談会

平成17年10月7日(金)に医学分館長室において、「医学分館学生懇談会」が開催されました。

この懇談会は、一昨年から実施されて今回で3回目になりました。通常は週2～3回、試験期は毎日図書館を利用している学生で、医学部医学科から4名、保健学科から2名、歯学部から3名の合計9名の学生と中村医学分館長が出席し、医学分館の運営などについて意見交換を行いました。

まずははじめに、医学分館に備え付ける学生用図書について、選書を学生に依頼しました。関連して、図書館資料全般について次の要望がありました。①CBTとOSCE(全国共用試験)対策の問題集を購入してほしい ②保健学科系の図書を充実させてほしい ③手話の本・点字の本など福祉関係の図書類を受入してほしい ④医学系ドキュメンタリー映像資料がほしい、などの意見が出ました。



また、図書館について次の意見がありました。  
 ①グループでの学習スペースが欲しい ②パソコンの数を増やしてほしい ③USB対応のパソコンにしてほしい ④グビロが丘文庫は、趣味の読書としてよく活用している ⑤ビデオの利用などについて知らない ⑥DVD等の視聴覚機器の充実、などの図書館設備に改善を求める意見があり、今後の図書館運営に非常に参考になる有意義な懇談会となりました。

## 経済学部分館学生懇談会

経済学部分館では、利用者の方々により一層の図書館サービスを提供するため、平成17年10月17日(月)に、学生・留学生を含む院生の方7名にお越しいただき、学生懇談会を開催し、図書館や図書館サービスに関するご意見・ご感想をいただきました。

柴多前分館長の司会のもと、図書館職員も列席のうえ、和やかな雰囲気のなかにも、参加された利用者からは、図書館に対する以下のような真摯なご要望が寄せられました。

- ① **蔵書の構成関係** 1) 外国語で書かれた文献が少ない 2) 郷土関係の資料が少ない
- ② **資料の配置関係** 新しく学生用として受入された資料がわかりにくい
- ③ **資料の利用関係** 1) 郷土資料や貴重資料をもっと活用したいので目録や情報発信に工夫をしてほしい 2) 郷土資料など貸出禁止資料を貸出してほしい 3) 貸出冊数を増やしてほしい。
- ④ **蔵書の検索関係** 図書の主題に関する検索方法がほしい
- ⑤ **貸出および返却関係** 1) 中央図書館や県立図書館の図書を、経済学部分館で貸出・返却できるシステムを構築してほしい 2) 閉館時間にも貸出できるシステムを構築してほしい。
- ⑥ **開館時間の関係** 夜間主コースの学生のために、もう少し開館時間を延長してほしい。
- ⑦ **施設関係** 1) トイレから悪臭が漂い不快感が生じる 2) 夏にクーラーが入っていても閲覧室が大変暑い 3) 分館内にグループ学習室がほしい 4) 分館内にノートパソコンを利用できる場所がほしい
- ⑧ **その他** 図書館や書庫の利用しやすい雰囲気作り、時間外開館当番職員に対する要望などもありました。



お寄せいただきました貴重なご意見に対して、分館長はじめ図書館職員も、その場で現状を説明し、あるいは、改善をお約束しました。結果として、参加された利用者および図書館側の両方にとり大変有意義な場となりました。

(情報サービス課)

## 学生懇談会での意見・要望・アイディアに応えます

### どうぞご利用ください！～17年度に実現しました～

- ・ グループ学習コーナーを整備【中央図書館2階メディアサロン（旧雑誌閲覧室）】
- ・ グループ学習室を新設【医学分館2階（旧視聴覚室）】
- ・ CBTとOSCEの対策の問題集を購入【医学分館】
- ・ 保健学科系の図書を充実【医学分館】
- ・ 医学系ドキュメンタリー映像資料を購入【医学分館】
- ・ 新着図書コーナーを新設【経済学部分館】
- ・ コイン式プリンター（コピー兼用）を増設【中央図書館3階】

### Coming soon！～ただ今準備中です～

- ・ 中央図書館・医学分館・経済学部分館の間で資料の配送を実施【全館・4月から】
- ・ パソコンを増設 中央図書館52台→70台、医学分館8台→22台、経済学部分館6台→10台  
【全館の情報メディア基盤センター設置分・3月】
- ・ パソコンのUSB対応機種への更新【全館の情報メディア基盤センター設置分・3月】
- ・ 休業期の土曜・日曜・祝日の開館（10時～17時）【中央図書館・4月から】
- ・ 平日の開館時間を8時40分に繰り上げ【中央図書館・4月から】
- ・ 閉館時間を22時15分に延長【経済学部分館・4月から】
- ・ ビデオの利用方法についての案内を作成【医学分館】

### もう少しお待ちください～実現に向けて計画中です～

- ・ アスベスト対策【中央図書館】
- ・ グループ学習室の整備【医学分館、経済学部分館】
- ・ 手話の本・点字の本など、福祉関係の図書類の受入【医学分館】
- ・ DVD等の視聴覚資料・機器の充実【全館】

### 一層がんばります～継続して取り組んでいます～

- ・ カウンター業務職員の対応改善【全館】
- ・ 学生用図書の充実【全館】

### 資料充実のためのお願い

**学生さんへ** 図書館では「こんな本が欲しい」という学生さんからのリクエストをお待ちしています。書名がわからなくてもテーマでリクエストOKです。

**先生へ** 学生さんの学習に必要となる図書を、あらかじめ購入して図書館に揃えておくことが必要です。そういう先読みした撰書ができるのは先生方だけです。教員からの推薦は随時受け付けています。一層のご協力をお願いします。

# メディアサロンをよろしく

中央図書館2階の旧雑誌閲覧室が「メディアサロン」として生まれ変わりました。

パソコンコーナーを仕切っていたガラスのパーテーションをはずして風通しを良くし、観葉植物を配置して、いごこちの良い空間をめざしました。どうぞご利用ください。

部屋の中央の学習コーナーではグループ学習もOKです。パーテーションも用意しています。

なお、学術雑誌は静かな環境でご利用いただけよう3階に移動しました。



玄関を入って左側が入り口です。



パソコンコーナーもゆったりしました。  
留学生用パソコンは入り口の右手です。  
AVコーナーは左手に移動しました。



3階にあった「ザ・なが」などの軽雑誌。



新聞台を新しくして展示する紙数を増やしました。



CNNニュースを見る、雑誌を読む、瞑想するなど、自由にお過ごしください。

## 3館合同展示会開催

中央図書館・医学分館・経済学部分館にて

附属図書館では、昨年10月、各館で所蔵する貴重資料の展示会を3館同時に開催いたしました。来場者は、長崎市民を中心に約690人に上りました。また、期間中に開催した岡林図書館長の講演会にも、大学内外から多数の出席者がありました。

### 「鳥瞰写真で見る明治初期の長崎」

中央図書館

中央図書館では、10月18日(火)から10月27日(木)までの10日間、「鳥瞰写真で見る明治初期の長崎」と題し、「幕末・明治期日本古写真コレクション」から長崎の鳥瞰写真30点を厳選してパネル展示しました。



幕末から明治にかけて撮影された古写真は感光原版が大きく、拡大パネル化すると細部がよりよく見えてくるという特長があります。市街地を一望できる風頭山、立山など同一地点からの撮影で時期の異なる写真を仔細に比較すれば、長崎の変貌を「定点観測」することができます。また、同時期の撮影で異なる地点からの写真を総合すれば、当時の長崎を「移動観測」することができます。

期間中には315名の市民が訪れ、大浦居留地の造成や中島川の変流工事、長崎港の埋立てなどが写し込まれた鳥瞰写真を観覧しました。また、10月22日(土)の講演会では、岡林隆敏館長が古写真と古地図をスクリーンに並列投影して解説し、聴講した市民との間で活発な質疑応答が交わされました。

(情報管理班長)

## 「医のこころを学ぶ ～フーフェランド関係資料展～」

医学分館

平成17年10月18日(火)から10月27日(木)まで、医学分館近代医学史料展示室において「医のこころを学ぶ～フーフェランド関係資料展～」を開催しました。期間中103名の来場者があり、

「日本におけるオランダ医学の発展の様子がよくわかった」「長崎が近代医学の礎の地であることを再認識した」「これからもこのような展示会を開催してほしい」などの意見が寄せられました。



この展示会は、ベルリン大学内科教授で、ドイツ臨床医学の第一の大家として有名なフーフェランド Christoph Wilhelm Hufeland (1762 ~1836) をテーマとして、平成16年度に購入した「医学必携（蘭語初版1837年）」を中心に関係貴重資料を展示しました。

医学必携は、彼の50年の経験をもとに綴られた書で、ヨーロッパ各国語にも訳された名著です。本書最終章の医師の義務を書いた部分には、現代でも通用する戒めの言葉が記されています。本学医学部の開学の精神であるポンペの言葉

「医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものではなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい。」は、彼の思想が影響していると言われています。

日本へは、江戸時代に舶載され、この書を原典として、緒方洪庵『扶氏経験遺訓』／青木浩斎『察病龜鑑』／杉田成卿『済生三方』および『医戒』などが出版されたことで、この当時の

感心の高さ、影響力の大きさをうかがい知ることができます。また、我が国最初の西洋小児科訳書『幼幼精義』として出版された資料もフーフェランドの著作物を原典としています。

これらの資料を一同に集め、現代にも通じる医師の心得を説くフーフェランドの西洋医学思想・教育の展示資料で、多くの見学者の関心を誘いました。

(医学情報担当)

### 経済学部創立100周年記念 「長崎高等商業学校関係資料展」 経済学部分館

長崎大学経済学部の前身である長崎高等商業学校が、明治38年(1905)に創設されてから100年を記念する事業の一環として、「長崎高等商業学校関係資料展」を、平成17年10月5日(水)～10月27日(木)の日程で、経済学部分館武藤文庫展示室において開催いたしました。



開催期間中は、通常の展示を一部入れ替えて、経済学部分館所蔵資料を中心に、卒業アルバムから当時の学校の校舎・授業風景・学生の生活などの写真をパネル化したもの、学生により当時編集・出版された雑誌や論文集、校歌の楽譜、これまで発行された研究紀要の変遷誌、最近までの卒業アルバムなどを展示しました。

全国から記念式典に参加されたO Bも、展示会場に足を運ばれ、当時をなつかしく思い出されていらっしゃいました。

なお、期間中の展示室への入場者数は272名にのぼり、盛況のうちに閉幕しました。

(経済情報担当)

## 常設 長崎大学附属図書館

### 公開貴重資料展示室

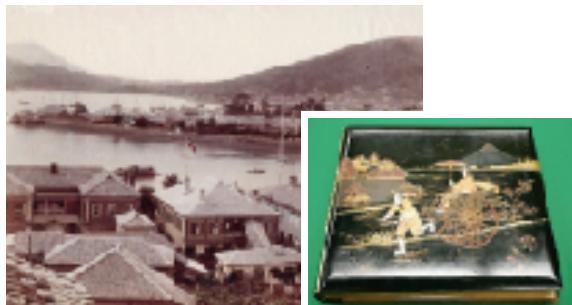
長崎大学附属図書館では、平成17年6月から、3館に常設の公開貴重資料展示室を開設いたしました。どなたでも見学していただけます。(要予約)

**見学時間：平日午前9:00～午後5:30**

#### 中央図書館 「古写真展示室」

予約tel : (095)819-2198

幕末・明治期日本古写真コレクション及びグラバー図譜をパネル展示しています。



#### 医学分館 「近代医学史料展示室」

予約tel : (095)849-7014

近代医学に関する歴史的な資料を展示しています。



#### 経済学部分館 「武藤文庫展示室」

予約tel : (095)820-6309

長崎高等商業学校の教授であった武藤長蔵博士旧蔵の資料を展示しています。



## 長崎大学附属図書館連続講演会 「学術情報流通は今—現状と課題」

附属図書館では、去る11月15日(火)と12月9日(金)に総合教育研究棟2階多目的ホールにおいて、附属図書館主催、長崎県大学図書館協議会共催の「長崎大学附属図書館連続講演会：学術情報流通は今—現状と課題」(全3回)のうち第1回と第2回の講演会を開催しました。



11月の第1回講演会では、土屋俊千葉大学附属図書館長により「学術情報基盤の再構築：国際的動向とキャンパス内対応の入り組んだ関係」と題した講演が行なわれました。

12月の第2回講演会では、「学術情報発信の新しい動向」をテーマに、安達淳国立情報学研究所(NII)開発事業部長による「SPARC/JAPANの活動と課題」、永井裕子日本動物学会事務局長による「過たず、惑わされず！！オープンアクセス」と題した講演があり、下田研一図書館部情報管理課情報管理班班長が「長崎大学における研究紀要の電子出版」と題して学内の事例を報告、最後に尾城孝一NII開発事業部コンテンツ課長による全体のまとめがありました。

この連続講演会は、激変しつつある学術情報流通の現状と課題に対する理解を深め、今後の指針を得るために、長崎県内外の大学教職員及び学生を対象として開催するものです。

この数年の間に学術コミュニケーションは商業出版社による学術雑誌の電子ジャーナル化によって様相を一変しましたが、価格の高騰傾向は依然として続いている。現在は、これに加えて、学術研究機関側からの巻き返し策でもあ

るオープンアクセス運動が世界的な潮流となりつつあります。大学図書館はこうした動きを視野に入れつつ、新しいサービスを展開しなければなりません。また、国立大学法人にとって、学内で生産される学術資源をインターネット上に情報発信し、社会に還元していくことは、公的資金による教育研究活動の説明責任を履行するという観点からも重要な課題となっています。大学の知的生産物を収集・保存し、国内外に発信するための「学術機関リポジトリ」が、今後における学術コミュニケーションのキーワードになりそうです。附属図書館は「学術機関リポジトリ」の構築に向けてまさに第一歩を踏み出そうとしています。

第1回と第2回講演会には延べ113名(第1回56名、第2回57名)が参加、こうした学術情報流通の変容と課題に熱心に耳を傾け、講演後には活発な質疑応答が行なわれました。



なお、2月9日(木)開催の第3回講演会では、「学術機関リポジトリ」をテーマとして、逸村裕名古屋大学大学院情報学研究科助教授、小西和信国立情報学研究所開発・事業部次長、星野忠次千葉大学大学院薬学研究科助教授の3氏を講師に迎え、「学術機関リポジトリ」の概要と背景を大学の責務や認証評価の観点から解説し、国立情報学研究所と千葉大学における次世代学術情報基盤の構築に向けた取り組みを紹介する予定です。

# 附属図書館で インターンシップ&職場体験

附属図書館では、8月、10月、11月にそれぞれ大学生、中学生、養護学校の生徒を職場体験のために受け入れました。

8月22日(月)から9月2日(金)までの10日間は、長崎シーボルト大学と長崎外国語短期大学から2名の学生が、中央図書館で就業体験を行ないました。

大学が実施しているインターンシップの一環で、なるべく実際に近い体験をさせることがねらいですので、カウンターでの図書の貸出返却処理を中心に、情報サービス課の業務ローテーションに入ってもらいました。体験後の感想には「毎朝同じ時間に出勤して仕事をし、同じ時間に帰るというのは二週間という短い期間でも、大学の生活に慣れきっていた私にはとても大変でした」、「今感じている達成感を感じるのは久しぶりでとてもうれしいです」といった言葉があり、図書館業務の紹介に終わらない文字通りの就業体験をしてもらえたのではないかと思います。



また、10月26日(水)から28日(金)までの3日間は、長崎東中学校の2年生1名が職場体験学習を行ないました。

小学校までの大半をオーストラリアで過ごし、将来は医学部への進学を考えているということでしたので、3日間のうち1日は留学生対応も多い医学分館でカウンター業務を体験してもらいました。医学分館の近代医学史料展示室で見たフーフェランドの「医戒」が印象に残ったようで、「医者になろう」という思いがいっそう強

まりました」という感想文が後日届きました。医学部の学生として再会するのが今から楽しみです。



さらに、11月21日(月)から25日(金)までの祝日をはさんだ4日間は、附属養護学校の高等部3年生1名が、中央図書館で現場実習を行ないました。養護学校の生徒を受け入れるのは初めてのことでのことで、受け入れ前には多少の戸惑いもありましたが、数字を並べるのが得意というだけあって、実習内容の書架整理はすぐにマスターし、実際には何の問題もなく4日間を終えることができました。心配どころか、素直な性格に周りが癒されるといった具合でした。国立大学法人に今後要求される障害者の雇用問題をあらかじめ考えるいい機会になったと思います。



この他、1月31日(火)から2月2日(木)の3日間には、西泊中学校の2年生2名が中央図書館で職場体験学習をすることになっています。

(情報管理班長)

## 長崎大学の先生方が書かれた本をいただきました (平成17年3月~12月分)

**高橋 真司 教育学部教授**

- Appeals from Nagasaki on the occasion of SSD-II and related events / Shinji Takahashi - Nagasaki Association for Research and Dissemination of Atomic Bomb Survivors' Problems, 1991  
〔中央図書館, 319.8 || 91 1508818〕
- コリングウッドの文明論：シヴィリティの倫理学 / 高橋真司, 2005  
〔中央図書館, 361.1 || 2005 1510267〕

**山口 隼正 教育学部教授**

- 宗像大社文書 / 宗像大社文書編纂刊行委員会編纂-宗像大社復興期成会, 1992.12-1999.11  
〔中央図書館, 第1巻 本編 210.029 || 92 || 1-1 1508431〕
- 〔中央図書館, 第1巻 影印本 210.029 || 92 || 1-2 1508432〕
- 〔中央図書館, 第2巻 本編 210.029 || 99 || 2-1 1508433〕
- 〔中央図書館, 第2巻 影印本 210.029 || 99 || 2-2 1508434〕

**谷川 昌幸 教育学部教授**

- 総批判改憲論 / 澤野義一 [ほか] 編 - 法律文化社, 2005.4  
〔中央図書館, 323.149 || 2005 1508436〕

**松田 雅子 環境科学部助教授**

- ブッカー・リーダー：現代英國・英連邦小説を読む / 福岡現代英國小説談話会編 - 開文社出版, 2005.5  
〔中央図書館, 930.27 || 2005 1510266〕

**増田 研 環境科学部助教授**

- 社会化される生態資源：エチオピア絶え間なき再生 / 福井勝義編著 - 京都大学学術出版会, 2005.3  
〔中央図書館, 245.1 || 2005 1508025〕
- 電子メディアを飼いならす：異文化を橋渡すフィールド研究の視座 / 飯田卓, 原知章編 - セリカ書房, 2005.  
〔中央図書館, 361.453 || 2005 1509381〕

**戸田 清 環境科学部助教授**

- 平和憲法を守ろう：被爆地市民の熱い思い / 長崎県九条の会, 2005.  
〔中央図書館, 319.8 || 2005 1508162〕
- 環境思想キーワード / 尾関周二他編著 - 青木書店, 2005.5  
〔中央図書館, 519 || 2005 1508435〕

**後藤 恵之輔 工学部教授**

- 軍艦島の遺産：風化する近代日本の象徴 (長崎新聞新書:015) / 後藤恵之輔, 坂本道徳著 - 長崎新聞社, 2005.4  
〔中央図書館, 219.3 || 2005 1829161〕

**工藤 徹一 工学部教授**

- 燃料電池：熱力学から学ぶ基礎と開発の実際技術（材料学シリーズ） / 工藤徹一, 山本治, 岩原弘育著 - 内田老鶴園, 2005.10  
〔中央図書館, 572.1 || 2005 1509375〕

**高橋 和雄 工学部教授**

- 1982長崎豪雨災害報告書 / 高橋和雄 [ほか] 執筆 - 中央防災会議 / 災害教訓の継承に関する専門調査会, 2005.3  
〔中央図書館, 451.98193 || 2005 1829464〕

**市川 寿 水産学部助教授**

- 水の挙動とゲル物性の変化 (水産学シリーズ:146. かまぼこの足形成:2) / 伊藤慶明, 石崎松一郎編 - 恒星社厚生閣, 2005.10  
〔中央図書館, 667.5 || 2005 || 2 1509953〕

**竹村 晴 水産学部教授**

- 水生動物の音の世界 (ベルソーブックス:021) / 竹村晴著 - 成山堂書店, 2005.4  
〔中央図書館, 663.6 || 2005 1508024〕

**兼重 譲 長崎大学名誉教授**

- ルネサンスの肖像画 / ジョン・ポープ=ヘネシー著, 中江彬, 兼重謙, 山田義顕訳 - 中央公論美術出版, 2002.8  
〔中央図書館, 723.05 || 2002 1510265〕
- シーポルトと町絵師慶賀：日本画家が出会った西欧 (長崎新聞新書:008) / 兼重謙著 - 長崎新聞社, 2003.3  
〔中央図書館, 721.83 || 2003 1830681〕

**故井上 源吾 長崎大学名誉教授**

- 遠思樓日記 / 欽齋日曆 (廣瀬淡窓日記:2) / 廣瀬淡窓著, 寒泉井上源吾訳注 - 弦書房, 2005.9  
〔中央図書館, 121.57 || 2005 || 2 1509954〕
- 醒齋日曆 (廣瀬淡窓日記:3) / 廣瀬淡窓著, 寒泉井上源吾訳注 - 弦書房, 2005.9  
〔中央図書館, 121.57 || 2005 || 3 1509955〕
- 進修録 (廣瀬淡窓日記:4) / 廣瀬淡窓著, 寒泉井上源吾訳注 - 弦書房, 2005.9  
〔中央図書館, 121.57 || 2005 || 4 1509956〕

**生涯学習教育研究センター長**

- 大学公開講座と評価 (長崎大学生涯学習叢書:4) / 長崎大学生涯学習教育研究センター運営委員会編 - 長崎大学, 2005.3  
〔中央図書館, 379.5 || 2005 || 2 1507876〕
- 地域と向き合う大学を考える (長崎大学生涯学習叢書:1) / 長崎大学生涯学習教育研究センター運営委員会編 - 長崎大学, 2002.3  
〔中央図書館, 377.2193 || 2002 1828718〕
- 地域・くらし・大学教育 (長崎大学生涯学習叢書:2) / 長崎大学生涯学習教育研究センター運営委員会編 - 長崎大学, 2003.3  
〔中央図書館, 377.2193 || 2003 || 2 1828719〕  
〔中央図書館, 377.2193 || 2003 || 2 1828720〕

**長崎大学医学部耳鼻咽喉科学教室**

- 長崎大学医学部耳鼻咽喉科学教室開講100周年記念誌 / 長崎大学医学部耳鼻咽喉科学教室編 - 長崎大学医学部耳鼻咽喉科学教室, 2005.1  
〔医学分館, 377.28 || 2005 2132151〕

**千住 秀明 医学部保健学科教授**

- 運動療法 第2版 1 (理学療法学テキスト:3) / 河元岩男, 溝田勝彦編集 - 神陵文庫, 2005.2  
〔医学保健図書室, 492.5 || 2005 || 3 2132681〕  
〔医学保健図書室, 492.5 || 2005 || 3 2132682〕

**田代 隆良 医学部保健学科教授**

- ひとり勝ち：看護の基礎固め 6 (微生物学編) / 浅本憲監修 - メディカルレビュー社, 2004.12  
〔医学保健図書室, 492.9 || 2004 || 6 2132683〕  
〔医学保健図書室, 492.9 || 2004 || 6 2132684〕

**長崎大学長崎遺伝倫理研究会**

- 遺伝カウンセリングを倫理するケーススタディー / 長崎遺伝倫理研究会編 - 診断と治療社, 2005.2  
〔医学保健図書室, 91.69 || 2005 2132685〕

**芳本 忠 薬学部教授**

- 出島のくすり / 長崎大学薬学部編 - 九州大学出版会, 2000.9  
〔経済分館郷土資料, 499.021 || N 3505961〕  
〔経済分館開架, 499.021 || N 3505962〕  
〔経済分館開架, 499.021 || N 3505963〕

多数の図書を寄贈していただき、ありがとうございました。今後とも、よろしくお願ひいたします。

## 館長・分館長の異動

附属図書館長	4月1日付 再任	工学部教授	岡林 隆敏
附属図書館医学分館長	7月15日付 任期満了	医歯薬学総合研究科教授	相川 忠臣
	7月16日付 新任	熱帯医学研究所教授	中村 三千男
附属図書館経済学部分館長	10月31日付 辞任	経済学部教授	柴多 一雄
	11月1日付 新任	経済学部教授	上野 清貴

## 新任職員からのメッセージ

図書館部 情報サービス課 情報サービス班  
医学情報担当 松田 綾

医学分館のカウンターで働き始めてから、10ヶ月が過ぎました。日々の業務には慣れてきたものの、分館の仕事は想像していた以上に幅が広く、まだまだ未熟な私は戸惑うこともありますが、それでも夢だった図書館員になれた幸せを噛みしめながら、日々働いています。

医学分館で私が主に担当しているのは、論文や図書を大学間で複写又は貸借する相互貸借業務、貸出返却等のカウンター業務、図書館の資料についての質問や図書館の利用方法についての質問にお答えする参考業務、そしてガイダンス、ホームページの更新などです。医学分館ではもちろん医学書、医学系の文献を中心に扱いますので、聞きなれない医学用語に四苦八苦することもありますが、同じように医学分館で働く先輩方のアドバイスのおかげで、日々楽しく働くことができています。

また利用者である先生や学生のみなさんがいつも元気よく挨拶をしてくださったり、笑顔で声をかけてくださるので、カウンターに座って利用者のみなさんをお迎えするのが毎朝の楽しみです。

実は私はここ長崎大学の卒業生でもあります。数年前までは学生として長崎大学に通っていました。その大好きな母校で大好きな仕事をすることができます、そしてわずかながらでも後輩たちの学習の手助けができるということは本当に幸せなことだと思います。また同時に、卒業生であるからこそ、利用者という立場での目線を常に忘れずに、利用者の側に立ったサービスを行っていかなくてはならないと、気持ち新たにしているところです。まだまだ至らない点も多いかと思いますが、精一杯努力していきたいと思っていますので、何卒よろしくお願ひいたします。



## 職員の方もご利用ください

附属図書館は、学生と教職員のための施設です。事務職員の方もどんどんご利用ください。業務で必要な情報だけでなく、趣味・教養の分野でもお気軽にカウンターでご質問ください。中央図書館3階の雑誌コーナーには、「プレジデント」「エコノミスト」「新建築」「月刊美術」なども並んでいます。こんな雑誌を置いて欲しい、というご要望もお待ちしております。

## ●情報スクランブル●

### 中央図書館からのお知らせ

館内で視聴していただけるAV資料（ビデオ・DVD）が充実しました。AVコーナー（メディアサロン内）のスペースも広くなりました。

ご利用の際は展示してあるパッケージを持ってカウンターまで。

\*二人で一緒に見ることもできます。

\*ビデオ・DVDもリクエストできます。

### AV資料（ビデオ・DVD）が充実



### 医学分館からのお知らせ

### 病院内図書室は24時間利用できます！



附属病院10階にある共同図書室が学生のみなさんも利用できるようになりました。

利用者証の発行申請をすれば24時間利用できますので、自学自習の場として活用ください。申請用紙は医学分館カウンターにあります。

### 経済学部分館からのお知らせ

#### 武藤文庫展示室公開中

見学時間は 平日午前9:00～午後5:30です。

(事前に予約が必要です。)

【連絡先】 電話(095)820-6309,

E-mail [ecoinfo@lb.nagasaki-u.ac.jp](mailto:ecoinfo@lb.nagasaki-u.ac.jp)

学生の皆さんも、是非ご覧ください。

#### 学生希望図書受付中

レポート作成や研究のために、図書館において欲しい本はありませんか？

学生からの図書の申込みをお待ちしております。（申込書はカウンターにあります。）

学生希望で新しく入った本を図書館入口横に並べましたので、こちらもご利用ください。



#### 和華蘭の窓

長崎大学附属図書館報 No.95・96合併号 2006年（平成18年）1月31日発行

#### 編集責任者

長崎大学附属図書館広報WG総合責任者 図書館部情報サービス課長 能村浩次

#### 館報編集担当

志波原智美・辻村恵二・山下昭光・森石みどり・松田綾・永田貴子

#### 発行

長崎大学附属図書館 〒852-8521 長崎市文教町1-14 (095)819-2193(総務担当)

附属図書館ホームページアドレス <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>

図書館報アドレス <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/kanpo/>